

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 7 月 4 日 (2019.7.4)

【公開番号】特開 2018-187472 (P2018-187472A)

【公開日】平成 30 年 11 月 29 日 (2018.11.29)

【年通号数】公開・登録公報 2018-046

【出願番号】特願 2018-165754 (P2018-165754)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 5 月 29 日 (2019.5.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

所定条件の成立に起因して当否判定を行い、その当否判定の結果を、図柄を変動表示させた後に停止表示する報知演出によって報知する判定報知手段と、

遊技の状況に応じて可動役物を駆動して、前記報知演出とは異なる役物演出を実行する役物演出実行手段と、を備え、

前記役物演出実行手段として、前記可動役物を駆動するモータと、前記モータを制御する制御手段と、を有する遊技機において、

第 1 の前記可動役物を駆動する第 1 の前記モータと、第 2 の前記可動役物を駆動する第 2 の前記モータと、を有し、

前記制御手段は、前記第 1 のモータが定速駆動となった後に、前記第 2 のモータの作動を開始して加速させる遊技機。

【請求項 2】

前記制御手段は、前記モータが定速駆動されている間に、前記可動役物とは異なる演出役物を作動させる請求項 1 に記載の遊技機。

【請求項 3】

前記制御手段は、前記第 2 のモータが定速駆動となった後に、前記第 1 のモータを減速させる請求項 1 又は 2 に記載の遊技機。

【請求項 4】

前記モータに振り分けられる電力が、定速駆動中は、加速中及び減速中よりも小さい請求項 1 乃至 3 の何れか 1 の請求項に記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

上記目的を達成するためになされた請求項 1 の発明は、所定条件の成立に起因して当否判定を行い、その当否判定の結果を、図柄を変動表示させた後に停止表示する報知演出に

よって報知する判定報知手段と、遊技の状況に応じて可動役物を駆動して、前記報知演出とは異なる役物演出を実行する役物演出実行手段と、を備え、前記役物演出実行手段として、前記可動役物を駆動するモータと、前記モータを制御する制御手段と、を有する遊技機において、第1の前記可動役物を駆動する第1の前記モータと、第2の前記可動役物を駆動する第2の前記モータと、を有し、前記制御手段は、前記第1のモータが定速駆動となった後に、前記第2のモータの作動を開始して加速させる遊技機である。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

請求項2の発明は、前記制御手段は、前記モータが定速駆動されている間に、前記可動役物とは異なる演出役物を作動させる請求項1に記載の遊技機である。

請求項3の発明は、前記制御手段は、前記第2のモータが定速駆動となった後に、前記第1のモータを減速させる請求項1又は2に記載の遊技機である。

請求項4の発明は、前記モータに振り分けられる電力が、定速駆動中は、加速中及び減速中よりも小さい請求項1乃至3の何れか1の請求項に記載の遊技機である。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明によれば、可動役物駆動時の消費電力を低減することが可能である。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】